Panasonic

取扱説明書

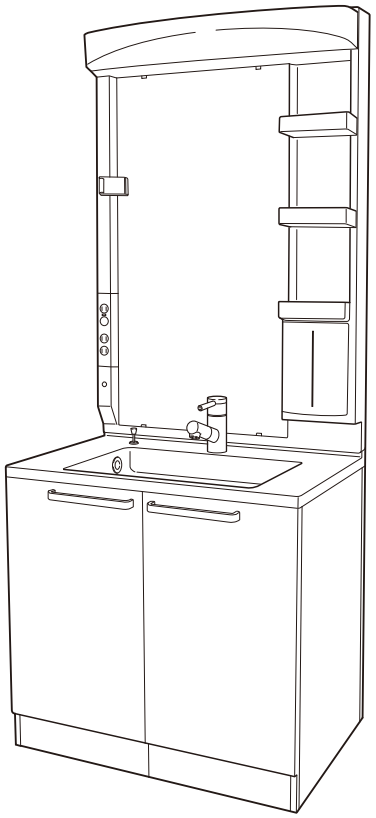
洗面化粧台

アクアハート洗面
収納オープン両用プラン

品番

カウンター	VAS200107N
ミラーキャビネット	VAS200301N
フロアキャビネット 扉付仕様	VAS200204N
扉セット	VAS200205□N

※□の中には次の扉色品番が入ります。
ビューティーホワイト：BW
ビューティーブラウン：BR
エクセルダーク　　：UZ
エクセルライト　　：NZ



■このたびは、洗面化粧台をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

■**ご使用前に「安全上のご注意」(4～7ページ)を、必ずお読みください。**

■保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、工事店からお受け取りください。

■取扱説明書と保証書、取付設置説明書は大切に保管し、必要なときにお読みください。

保証書付き

もくじ

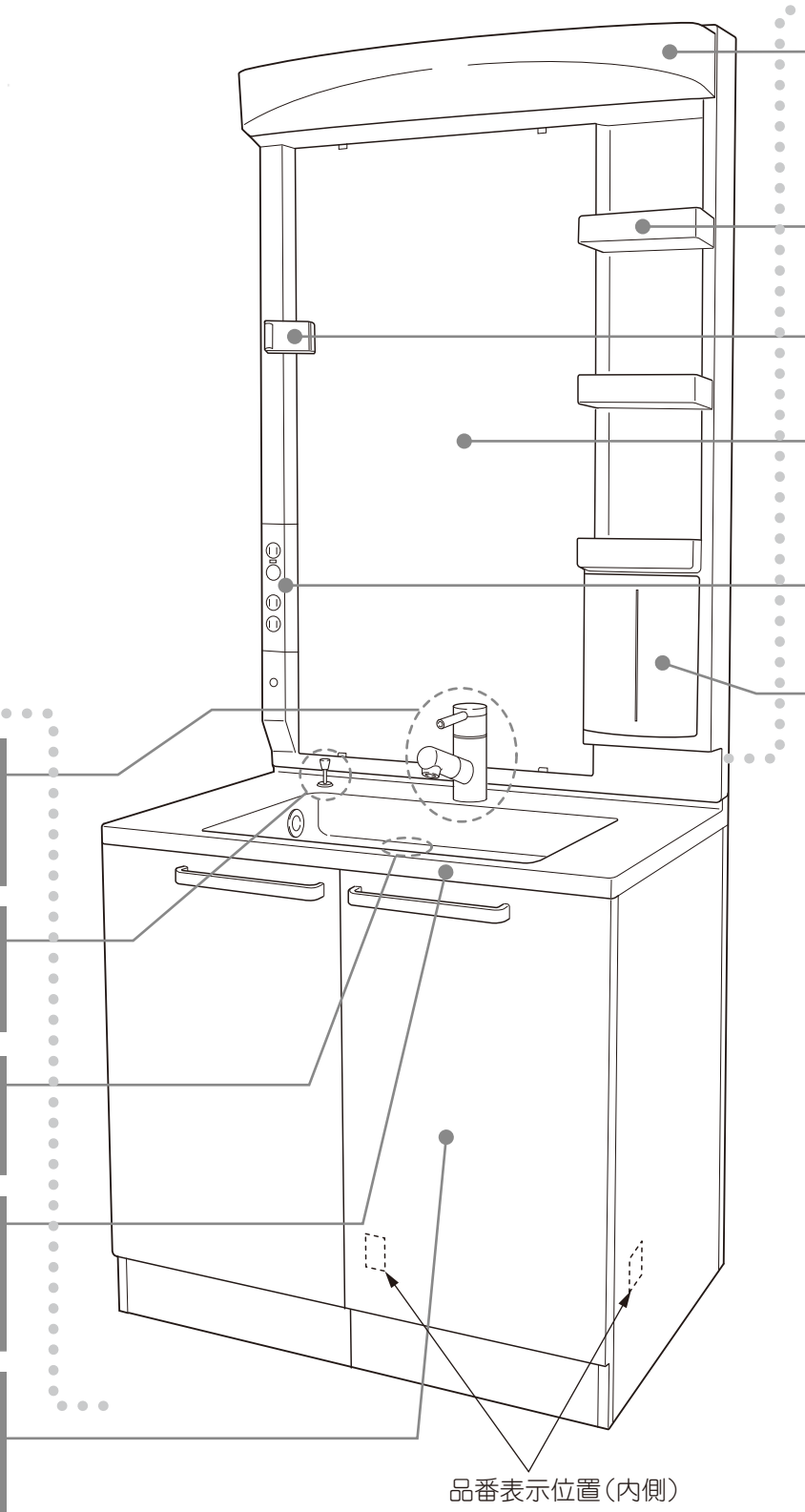
各部のなまえと特徴	2
安全上のご注意	4
使用上のご注意	8
給水栓の使いかた	9
排水栓の使いかた	9
コンセントの使いかた	11
照明の使いかた	11
扉の取り外しかた・取り付けかた	13
日常のお手入れ	14
内部機構のお手入れ	15
このようなときはQ&A	17
仕様	18
洗面化粧台保証書	19
保証とアフターサービス	裏表紙
お客様ご相談窓口のご案内	裏表紙

「こんなふうに使いたかった」想いがかた

毎日の身じたくがスムーズに、
みんなが笑顔になる楽しい暮らしが始まります。

フロアキャビネット

扉と棚板を外すだけで、
簡単に車いす対応型に変身。
（くわしくは13ページをご覧ください）



給水栓（マルチシングルレバー洗面混合水栓）
- 片手で簡単シンプル操作
- 多用途に使える引き出し式のシャワーヘッド

→9ページ

ポップアップつまみ（排水用）
- 手をぬらさずに排水操作

→9ページ

排水栓
- お手入れ簡単ヘアキャッチャー付

→9ページ

洗面ボール・カウンター
- 継ぎ目のない一体型だから、お手入れラクラク
- フラットなカウンターで、小物が置きやすい
- 握りやすい前面形状で、車いすのひきよせもラクラク

フロアキャビネット下部
- ワンタッチで扉を外せば車いす対応へ変身
- 収納に便利な棚板付

→13ページ

ちになりました。

ミラーキャビネット

シンプルフェイスなのに多機能、衛生的。

照明
- 手元までくっきり明るい照明
→11～12ページ

外せるトレイ（着脱トレイ）
- 取り外して洗えるから、衛生的

ドライヤーフック
- よく使うドライヤーを便利に収納

見やすいミラー
- パウダールームにいるような大きなミラー
- 操作不要で嬉しい「くもりシャット」機能付き

照明スイッチ・コンセント
- 色々使える3個口コンセント（合計1200Wまで）
→11ページ

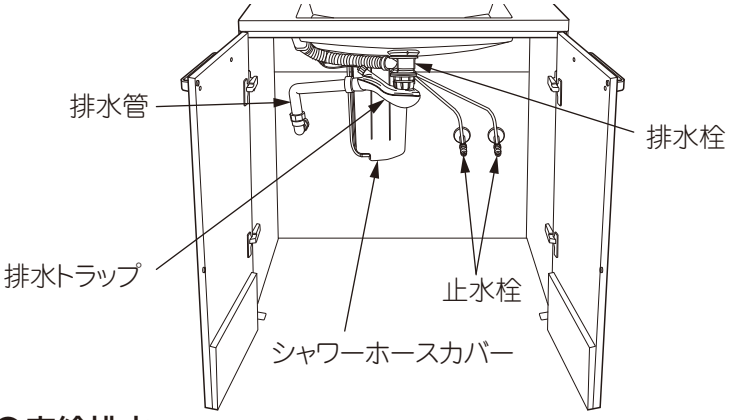
エチケットケース
- 歯ブラシなど小物をすっきり収納できます

内部構造・配管図

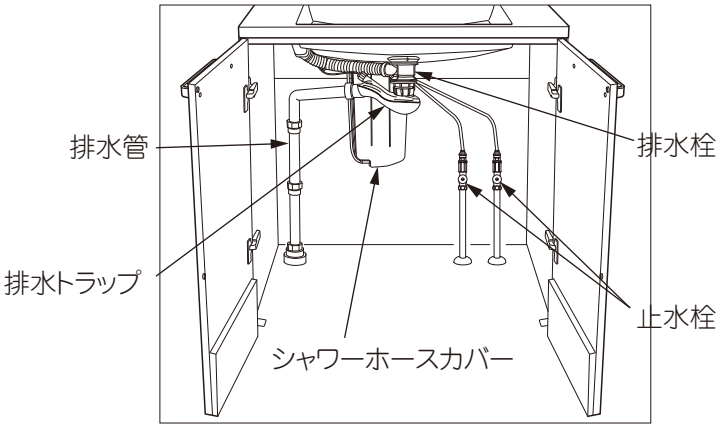
定期的にお手入れすることで、
長く安心してお使いいただけます。

※お手入れするときには、化粧ねじを緩めて前板を外してください。
（くわしくは15～16ページをご覧ください）

●壁給排水

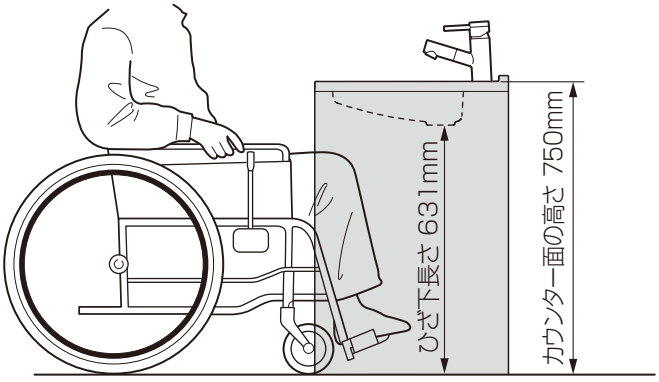


●床給排水



カウンター高さ寸法図

※車いすとカウンターの高さ寸法関係は下図でご確認ください。



安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、
必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容です。
❗	実行しなければならない内容です。

禁 止

分解・修理・改造をしない
- 感電や故障の原因になります。

スイッチ・コンセント・照明に水・湯をかけたり、ぬれた手でさわったりしない
- 感電や漏電、鏡割れの原因になります。

コンセント

禁 止

コンセントの合計使用電力は1200Wを超えない
- 1200Wを超えると、発熱による火災の原因になります。

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
- 感電の原因になります。

電源コード・電源プラグを破損するようなことをしない
- 感電や火災の原因になります。

電源コードを束ねたまま使用しない
- コードの発熱による火災の原因になります。

必ず守る

電源プラグは根元まで確実に差し込む
- 確実に差し込まれていないと、漏電・感電・火災のおそれがあります。

電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って抜く
- 火災や感電やけがのおそれがあります。

電源プラグのほこりを定期的にとる
- ほこりと湿気で絶縁不良となり、火災発生のおそれがあります。乾いた布でふいてください。

⚠警告

禁 止

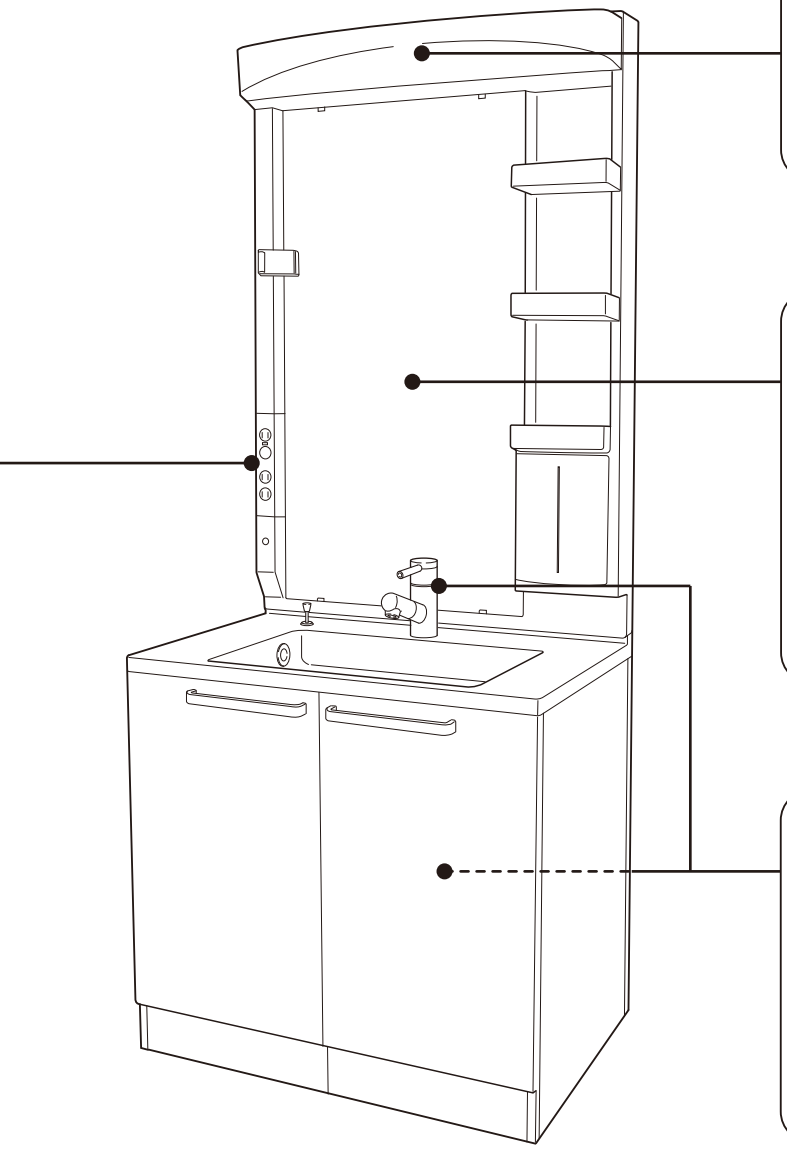
小さいお子様だけで使用しない

- 思わぬ操作をし、転倒などによりけがをするおそれがあります。

必ず守る

洗面化粧台の電源プラグは定格15A・交流100Vの壁コンセントを単独で使う

- 火災の原因になります。



照明

禁 止

照明に水・湯をかけない

- 感電や漏電、鏡割れにより、けがをするおそれがあります。

必ず守る

蛍光灯を交換する場合は、照明スイッチを切ってから行う

- 感電のおそれがあります。

必ず守る

蛍光灯は、必ず指定のワット数と形状のものを使う

- ワット数や形状が大きいと、火災の原因になります。

ミラーキャビネット

必ず守る

ドライヤーやヘアーアイロンなどは、十分に冷めてから収納する

- 近くの可燃物が発火したり、キャビネットが変形するおそれがあります。

必ず守る

電動歯ブラシなどの充電式器具以外は、電源プラグを抜いて収納する

- スイッチの切り忘れなどによる発熱や火災のおそれがあります。

給水栓・排水栓

禁 止

排水トラップを高圧洗浄機で洗わない

- 破損の原因になります。

必ず守る

水抜きを行った後は、前板を固定用の化粧ねじで確実に取り付ける

→13ページ

- 落下事故やけがの原因になります。

安全上のご注意 必ずお守りください

⚠注意

本体共通

禁止

扉や取っ手にぶら下がらない
- 扉が外れて、けがをするおそれがあります。

扉を大きく開けすぎない
- 扉が外れて、けがをするおそれがあります。

必ず守る

組み込まれる機器・水栓金具などについては、それぞれの取扱説明書及び製品本体に表示されている事項を守る
- 使いかたを誤ると、思わぬ事故や故障の原因になります。

洗剤・薬剤について

禁止

有機溶剤、強酸性または強アルカリ性洗剤、トイレ用洗剤を使用しない
- 破損による漏水の原因になります。

粉末・固形の塩素系洗剤、塩素系漂白剤を使用しない（近づけない）
- 湿気に反応してガスを発生し、ステンレスなどの金属やゴムの劣化の原因になります。保管の場所、方法には十分注意してください。

必ず守る

洗剤、薬剤類は使用上の注意をよく読み、表示にしたがって使う
- 守らないと、破損の原因になります。

照明

禁止

照明器具の上に物を載せない
- 落下・破損して、けがをするおそれがあります。

点灯中および消灯直後に蛍光灯にさわらない
- やけどをするおそれがあります。

ミラーキャビネット

ミラーキャビネットの上に物を載せない
- 落下事故のおそれがあります。

鏡に手をついたり、もたれたりしない
- 鏡が割れて、けがをするおそれがあります。

禁止

棚・着脱トレイなどに物を載せすぎない
- 落下事故や破損の原因になります。

エチケットケースの取付部には、潤滑油をささない
- 落下事故や汚れの原因になります。

必ず守る

着脱トレイを外す前に、必ず着脱トレイ内の収納物を取り除く
- 収納物が落下して破損するおそれがあります。

洗面ボール・カウンター

禁止

固い物を落とさない
- 破損して、けがをするおそれがあります。

カウンターの上に乗らない
- カウンターが破損して、けがをするおそれがあります。

シンナーなどの有機溶剤、強酸、強アルカリ性洗剤やトイレ用洗剤を流さない
- 排水栓・排水管が破損し、水漏れのおそれがあります。

必ず守る

つけおき洗い洗濯をする場合、溜めた水の量を調整し、水があふれないようにする
- あふれた水で、床・壁をぬらす原因になります。

⚠注意

給水栓・排水栓

シャワーホースやホース引出口に直接湯水をかけない

→15ページ

- 水漏れのおそれがあります。

※シャワーホルダーから水受けタンク内にたまった水は定期的に抜いてください。

禁止

排水栓を閉じたまま、水を出しっぱなしにしない

- 洗面ボールから水があふれ、漏水の原因になります。

長期間シャワーホース内に滞留した水を飲用しない

- 長期間滞留した水は飲用に適さない場合がありますので、生活雑水に使用してください。

水受けタンクを定期的に確認し、水位が注意水位線あたりになったら、水を捨てる

- 漏水のおそれがあります。

長期間使用しなかったときは、しばらく水を流し、シャワーホース内部を洗浄する

- 長期間シャワーホースにたまっていた水の飲用は避けてください。

必ず守る

止水栓の袋ナットをゆるめるときは、給湯管が十分冷めてから行う

- お湯を使用した直後に給湯管に触れるとやけどのおそれがあります。

止水栓の袋ナットは確実に締め付け、水漏れがないか確認する

- 水漏れ、拡大損害の原因になります。

給水栓に付属の説明書の内容を守る

- 使いかたを誤ると、思わぬ事故や故障の原因になります。

凍結が予想されるときは、水抜きを行う

- 凍結破損で水漏れし、拡大損害のおそれがあります。

※操作について詳しくは給水栓に同梱している取扱説明書をお読みください。

フロアキャビネット下部

扉の開閉時、収納物が排水栓・止水栓にあたらないか確認する

- 排水栓・止水栓に収納物があたる場合、閉めた際に、排水栓・止水栓を変形させ、水漏れのおそれがあります。

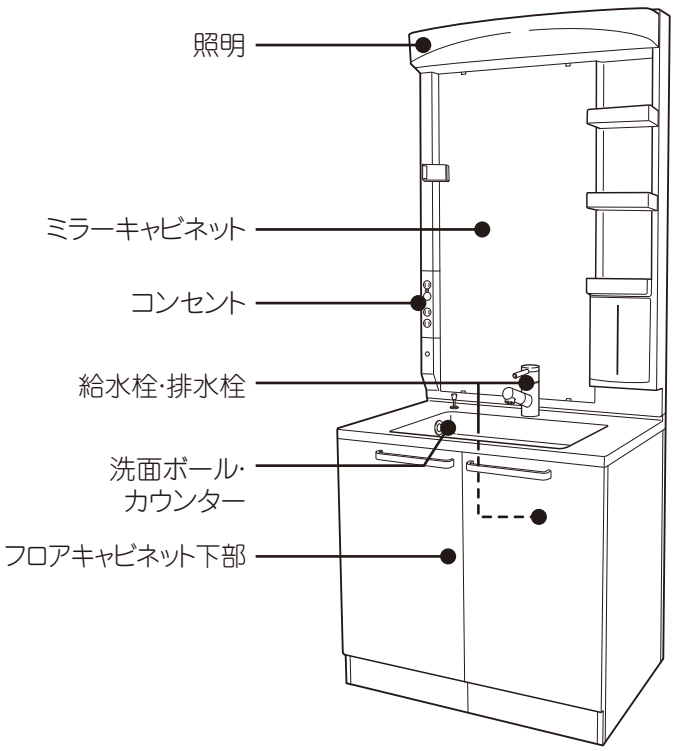
必ず守る

扉を開閉する時は、周囲の物にあたらないよう気をつける

- 扉をぶつけて、破損したり、けがをするおそれがあります。

扉・前板が傾いたり、がたついているときは、丁番ねじ・取付ねじを締め直す

- 扉・前板が落下して、けがをするおそれがあります。



使用上のご注意

本体共通

木部に水をかけたり、ぬれたまま放置しない
- ふくれや変形の原因になります。

化粧品・除光液・毛染液・うがい薬などがついた場合はすぐに拭きとる
- 変色・変形・破損の原因になります。

※化粧ビンは、ミラーキャビネットのトレイの上に保管してください。

研磨剤入の洗剤、硬い布、メラミンフォーム、ナイロンたわしなどでの清掃はしない
- 商品表面に傷がつくおそれがあります。

※特にくもりシャットミラーは、ミラー表面にやわらかい吸水膜をコーティングしていますので注意してください。

有機溶剤、強酸・強アルカリ性洗剤、トイレ用洗剤は使用しない
- 漏水や変色・破損・表面劣化の原因になります。

※みがき粉・シンナー・アセトン・カビとり剤・ベンジン・酸性洗剤は使用できません。

ストーブ・ヒーターなどを近づけない
- 変形・変色の原因になります。

ぬれたタオルをかけない
- 本体キャビネット・扉のふくれの原因になります。

ヘアドライヤーの熱風を直接あてない
- 変形・変色の原因になります。

金属類を放置しない
- ヘアピン・カミソリなどを放置しないでください。もらいサビの原因になります。

直射日光があたる場合は、必ずカーテンなどで遮る
- 変色の原因になります。

照明

照明部につかまるなど大きな力をかけない
- 破損の原因になります。

手元の明るさが十分でないと感じる場合は、洗面室の照明を併用して使う

給水栓・シャワーホース

シャワーホースを無理に引っぱらない

※シャワーホースが戻らなくなった場合は、キャビネット下部を開けて、水受けタンクの中にシャワーホース・ホースガイドを引き戻してください。

引き出したシャワーホースを戻すときは、ホースに片手を添えて戻す
シャワーホースをさかさにして取り付けない
- 水が上に飛び散り、床・壁をぬらすおそれがあります。

ミラーキャビネット

くもり止め効果が落ちてきたら、無色の台所用中性洗剤で洗浄するとくもり止め機能が回復する

毛染液・化粧品、液体うがい薬などがついた場合、ぬれタオルですぐに拭きとる
- くもり止め効果の低下や変色・変形の原因になります。

鏡表面にテープ、シール（ジェル状の飾り）、吸盤などを貼らない
- 鏡裏面が変色（着色）したり、くもり止め効果がなくなるおそれがあります。

鏡の水滴はすぐに拭きとる
- 鏡の腐食の原因になります。

くもりシャットミラーに蒸気が触れ続けるような使用はやめる
- 鏡像がゆがんで見えるおそれがあります。

※鏡像がゆがんで見える場合は、鏡表面をきれいなタオルで拭いてください。

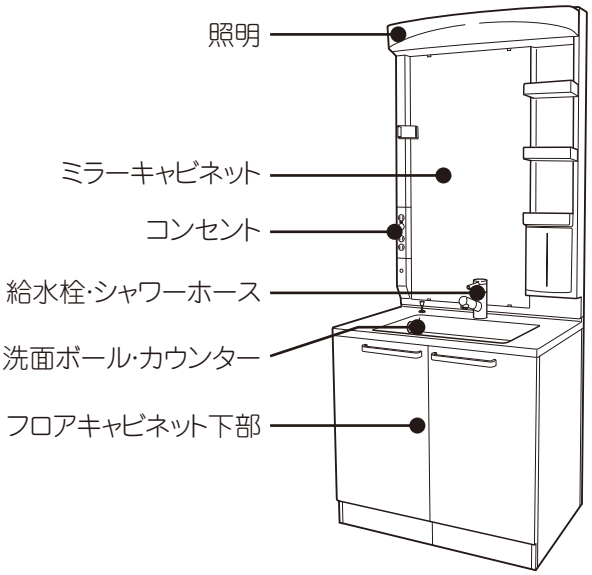
騒音を発生するものを収納しない
- 反響して大きな音になることがあります。

洗面ボール・カウンター

塩素系洗剤によるつけおき洗いは洗面ボールで直接行わず、洗面器などを使用する
また、排水口に流したらその後、水を流して洗面ボールや配管の洗剤を流しきる
- 洗面ボールや排水管を痛める原因になります。

洗面ボール内で刃物や先端が鋭利な物を使用しない
- 傷の原因になります。

お手入れの際に金属のたわしや硬いスポンジ、研磨剤入り洗剤、歯みがき粉などを使用しない
- 洗面ボール表面に傷が付いて、汚れが落ちにくくなるおそれがあります。



使いかた

給水栓の使いかた

使用上のご注意

- レバーハンドルの温度位置を確認してから、水またはお湯を出してください。
- 温度の上限(最高温度)は、給湯器側で設定してください。
- 給湯器の表示温度を確かめてから使用してください。

■ 水またはお湯を出す、止める

1 レバーハンドルを持ち上げると、水はたはお湯が出ます。

2 レバーハンドルを押し下げると、水またはお湯が止まります。

■ お湯の温度を調整する

1 レバーハンドルを左にまわすと、湯温が上がります。

2 レバーハンドルを右にまわすと、湯温が下がります。

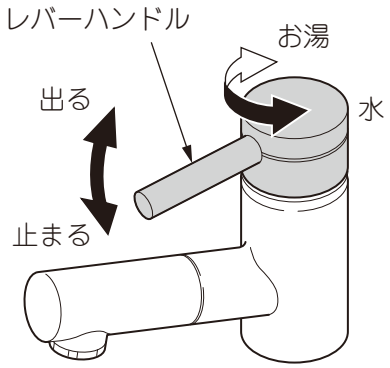
■ シャワーホースを使う

1 シャワーヘッドを引き出すと、シャワーホースが伸びます。

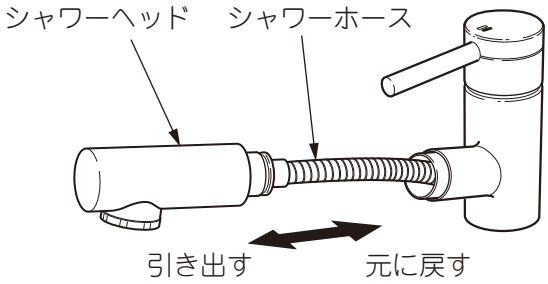
使用上のご注意

- シャワーホースを無理に引っ張らないでください。
  破損・収納不良の原因になります。

● 基本の使いかた



● シャワーホースの使いかた



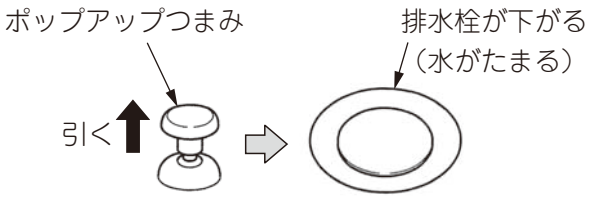
排水栓の使いかた

■ 水をためる、排水する

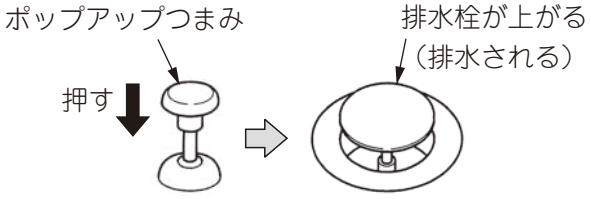
1 ポップアップつまみを引くと、排水栓が閉じて水がたまります。

2 ポップアップつまみを押すと、排水栓が上がって排水されます。

● 水をためる



● 排水する



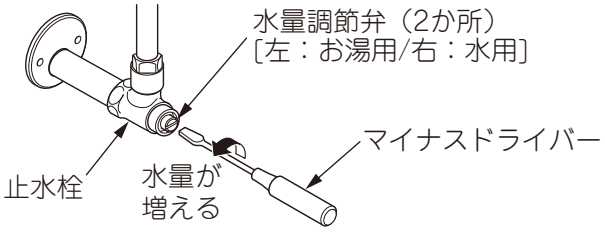
使いかた

水の出が悪いときの調整方法

※貯湯式給湯器の場合は、圧力が低いために湯の出が悪くなることがあります。

Step 1）止水栓を開く

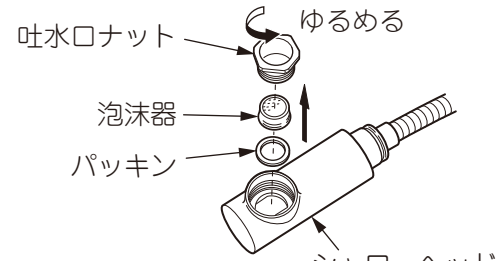
「Step1」で水の出が良くならない場合は、次の「Step2」を行ってください。

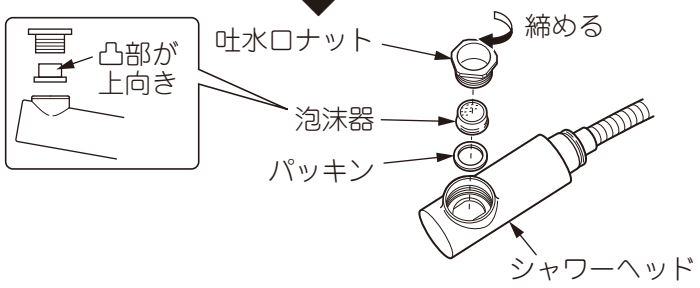


Step 2）シャワーヘッドの泡沫器をそうじする

1 スパナなどを使用し、吐水口ナットを外します。
2 吐水口ナットを水洗いし、ゴミなどを取り除きます。
3 吐水口ナットを取り付けます。

「Step2」で水の出が良くならない場合は、次の「Step3」を行ってください。





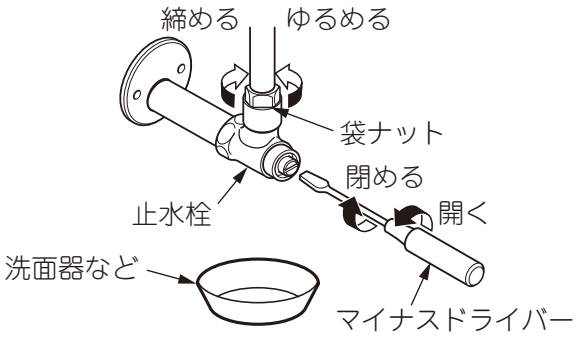
使用上のご注意

- **取り外した部品をなくさないようにご注意ください。**
- **おそうじ後は、水を流して、水漏れがないか確認してください。**

Step 3）給水・給湯ホースのねじれを直す

- 袋ナットをゆるめる際に配管内に残っている水が出ます。作業前に止水栓の下に水を受けるための洗面器などを置いてください。

1 止水栓を完全に閉めます。
2 袋ナットをゆるめ、ホースのねじれを直します。
3 袋ナットを締め、止水栓を開きます。



⚠注意

必ず守る

- **止水栓の袋ナットは、給湯管が十分冷めてからゆるめる**
  お湯を使用した直後に給湯管にふれると、やけどのおそれがあります。
- **止水栓の袋ナットは確実に締め付け、水漏れがないか確認する**
  水漏れ、拡大損害の原因になります。

コンセントの使いかた

◎コンセントは回転式になっています。下記の手順でご使用ください。

⚠警告

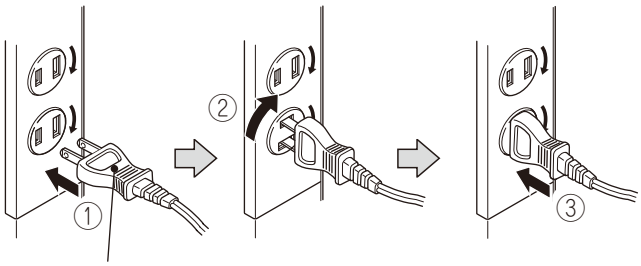
禁 止

- **コンセントの合計使用電力は、1200Wを超えない**
  1200Wを超えると、発熱による火災の原因になります。
- **コンセントに水をかけたり、濡れた手で触ったりしない**
  感電・漏電のの原因になります。

■ 電源プラグを差し込む

1 電源プラグ部を持って、軽く差し込みます。
2 そのまま、右に90°回します。
3 奥までしっかり差し込みます。

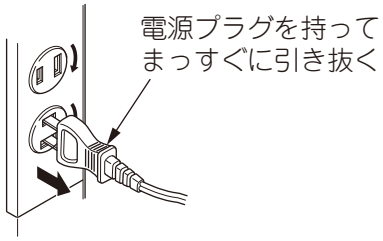
● 電源プラグの差し込みかた



■ 電源プラグを抜く

1 電源プラグ部を持ち、まっすぐ引き抜きます。

● 電源プラグの抜きかた



※コードを引っ張らないでください。

照明の使いかた

■ 照明スイッチを点灯する、消灯する

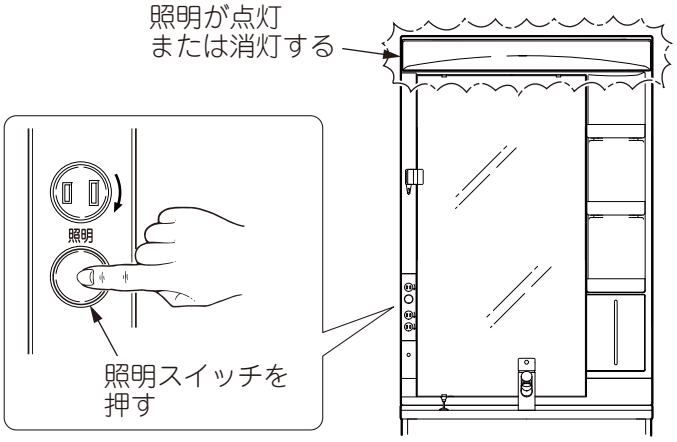
1 照明スイッチを押すと、照明が点灯します。
2 照明スイッチをもういちど押すと、照明が消灯します。

⚠警告

禁 止

- **スイッチに水をかけたり、ぬれた手で触ったりしない**
  感電・漏電のの原因になります。

● 照明の使いかた



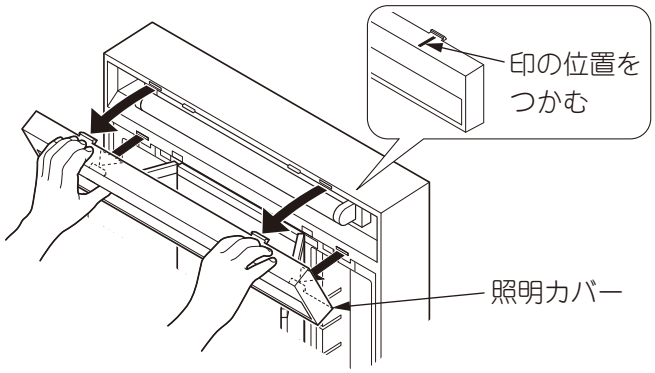
使いかた

■ 照明カバーを取り外す

1 照明カバー上面の印の位置をつかみ、軽く下方向に押しながら上側のツメを外します。

2 そのまま手前に引き、下側のツメを外します。（照明カバーが外れます。）

● 照明カバーの取り外しかた



■ 蛍光灯・グローランプを交換する

1 照明スイッチを押して、照明の電源を切ります。

2 照明カバーを取り外します。

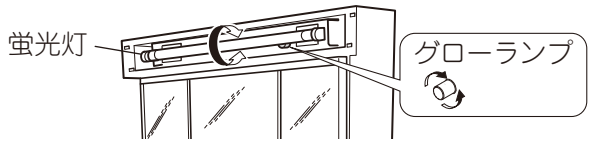
3 蛍光灯・グローランプを交換します。

⚠注意

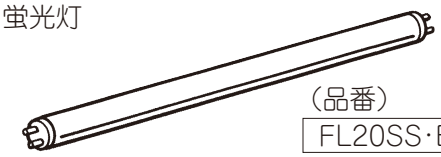
必ず守る

- **電源を切ってから交換する**
  感電の原因になります。
- **蛍光灯・グローランプは、指定のワット数のものを使用する**
  守らないと、火災の原因になります。

● 蛍光灯・グローランプの交換

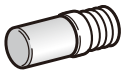


蛍光灯



（品番）
FL20SS･ENW/18X A

グローランプ



（品番）
FG-1E10-30形

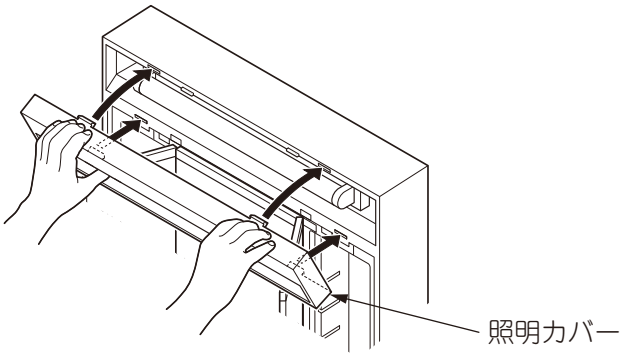
■ 照明カバーを取り付ける

1 取り外しの逆の手順で、照明カバーを取り付けます。

使用上のご注意

- **照明カバーは確実に固定してください。**
  落下事故の原因になります。

● 照明カバーの取り付けかた



■ 地域に合った周波数に切り替える

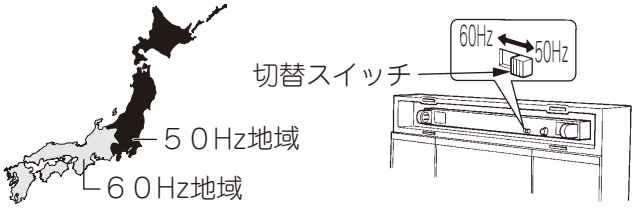
照明器具の周波数は「50Ｈｚ」にセットされています。60Ｈｚ地域では、「60Ｈｚ」に切り替えてください。

1 照明カバーを取り外します。

2 切替スイッチを、地域にあった周波数に合わせます。

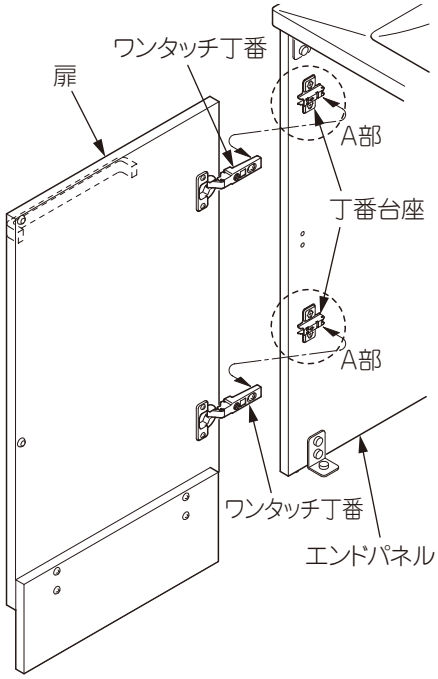
3 照明カバーを再び取り付けます。

● 周波数の切り替えかた



扉の取り外しかた・取り付けかた

◎本製品は、扉と棚板を取り外すだけで、簡単に車いす対応型に変更することができます。下記の手順で扉を取り外してください。



■ 扉の取り外しかた

1. 扉を開き、棚板を取り外します。
2. 着脱レバーのツメをつまみ、手前に引いて扉を取り外します。
3. 丁番台座の取付ねじをゆるめて取り外します。
4. ビス穴ふさぎキャップを取り付けます。

■ 扉の取り付けかた

1. 取り外しの逆の手順で、扉を取り付けます。

使用上のご注意

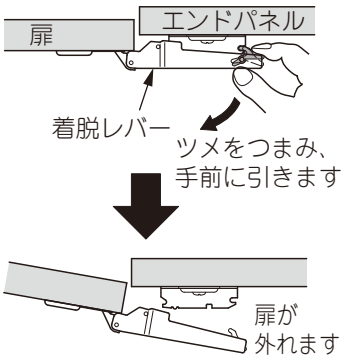
- **丁番台座は、矢印(←)を手前に向け、取付ねじが長穴(2か所)の中心にくるように取り付けてください。**

使用上のご注意

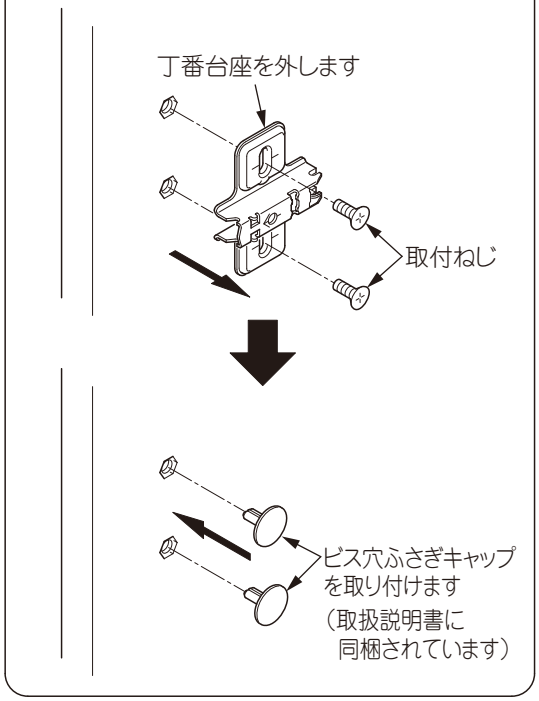
- **扉を取り外さずに開いたままの状態で車いすを使用しないでください。**
  扉にぶつかりけがをするおそれがあります。
- **棚板を取り外したままで扉を開閉しないでください。**
- **取り外した扉やねじ、丁番台座などの部品は、日光のあたらない湿気のない場所にまとめて保管してください。**

●扉の取り外し

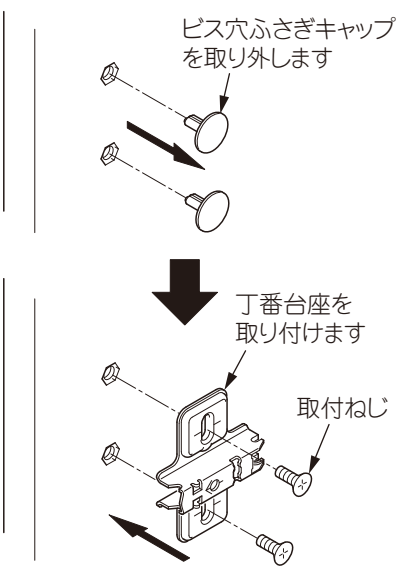
●扉の取り外しかた(A部)



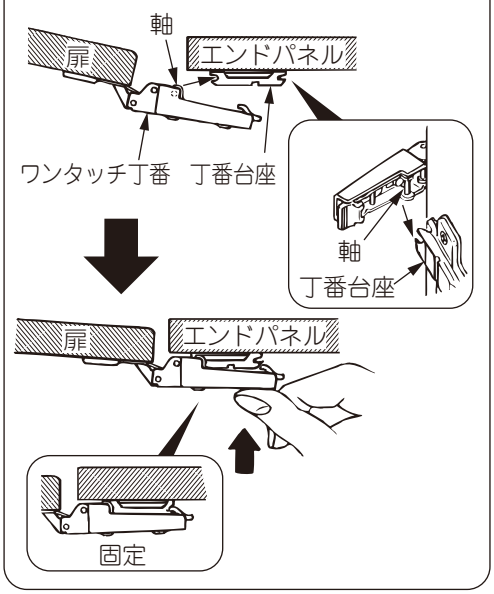
●丁番台座の取り外しかた(A部)



●丁番台座の取り付けかた(A部)



●扉の取り付けかた(A部)



お手入れ

日常のお手入れ

◎ここでは、全般的なお手入れを説明しています。

さらにくわしいお手入れ方法については、別冊の「洗面・トイレ お手入れ読本」で紹介しています。
お手元にないときには、「お客様ご相談窓口」までお申し付けください。(→裏表紙)

■ 洗面ボール・カウンター・キャビネットのお手入れ

1 やわらかいきれいな布またはスポンジに、水で20%に薄めた中性洗剤をしみ込ませて拭きとります。

使用上のご注意

- **表面がおかされたり、変色するおそれがありますので、清掃するとき、シンナーなどの有機溶剤、強酸、強アルカリ性洗剤やトイレ用洗剤を使用しないでください。**
- **表面を傷つけますので、研磨剤入り洗剤やナイロンたわしなどは使用しないでください。**

■ ヘアキャッチャーのおそうじ

1 洗面ボールから排水栓を抜きます。
2 ヘアキャッチャーのゴミを取り除きます。
3 歯ブラシなどで汚れを落とし、水洗いします。
4 排水栓を再びはめ込みます。

■ 排水管のおそうじ

1 排水管の清掃には、中性洗剤・発泡洗剤を使用し、塩素系洗剤・塩素系錠剤・ジェル系洗剤は使用しないでください。
2 ワイヤーチューブによる清掃は行わないでください。

■ ミラー（くもりシャット）のお手入れ

1 やわらかいきれいな布(使い古したTシャツなど)に、水で20%に薄めた台所用中性洗剤をしみ込ませて拭きとります。

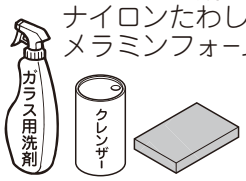
使用上のご注意

- **鏡表面に傷がつくおそれがありますので、みがき粉や研磨剤入りの洗剤、歯ミガキ粉などは使用しないでください。**
  また、硬い布やナイロンたわし・メラミンフォームなどで鏡表面を強くこすらないでください。

● お手入れに使用するもの

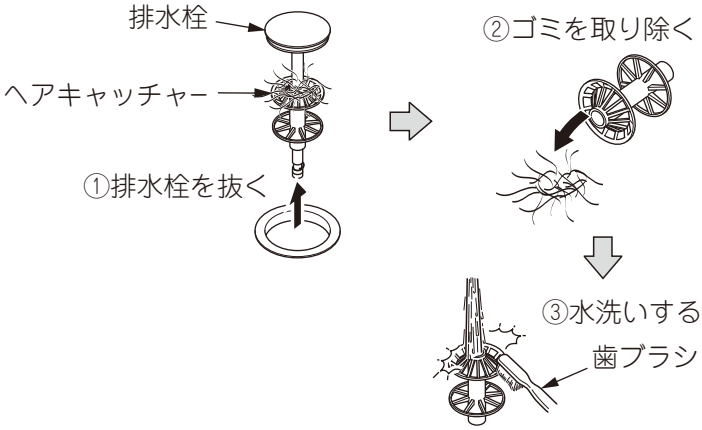
○
薄めた中性洗剤
やわらかいきれいな布
スポンジ

×
ガラス用洗剤
ナイロンたわし
メラミンフォーム



※みがき粉・シンナー・アセトン・カビとり剤・ベンジン・酸性洗剤は使用できません。

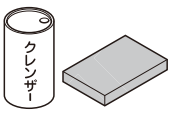
● ヘアキャッチャーのおそうじ



● ミラーのお手入れに使用するもの

○
薄めた台所用中性洗剤
やわらかいきれいな布

×
クレンザー
ナイロンたわし
メラミンフォーム



※鏡表面に傷がついたり、変色(着色)した場合は、補修できません。
有料修理による部品の交換となります。
「修理ご相談窓口」にお電話にてご相談ください。
(→裏表紙)

■ 泡沫器のおそうじ

1 吐水口ナットをゆるめて、取り外します。
（各部品が外れます。）

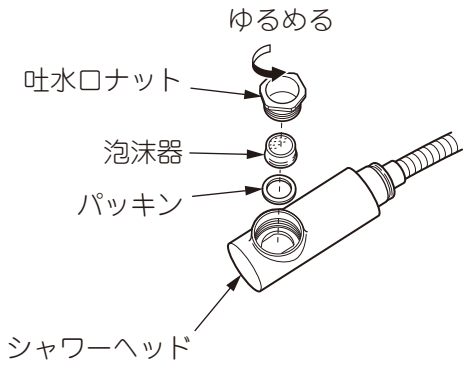
2 ゴミ、水アカを歯ブラシなどで取り除きます。

3 部品を元通りに取り付けます。

使用上のご注意

- **取り外した部品をなくさないようにご注意ください。**
- **おそうじ後は、水を流して、水漏れがないか確認してください。**

●泡沫器のおそうじ



内部機構のお手入れ

◎ここでは、家庭でできる簡単な内容のお手入れを説明しています。

下記以外の修理・お手入れ・工事は、「修理ご相談窓口」に依頼してください。（→裏表紙）

⚠警告

禁 止

- **排水トラップを高圧洗浄機で洗わない**
  破損の原因になります。

⚠注意

必ず守る

- **シャワーホースカバー内の水位が注意水位線までたまっている場合は、水抜きを行う**
  漏水の原因になります。

■ シャワーホースカバーの水位確認

通常使用ではシャワーホースカバーに水はたまりませんが、漏水を確実に防止するために水位確認を行ってください。

1 化粧ねじ(4か所)を外して、前板を取り外します。

2 注意水位線を目印に水位を確認します。

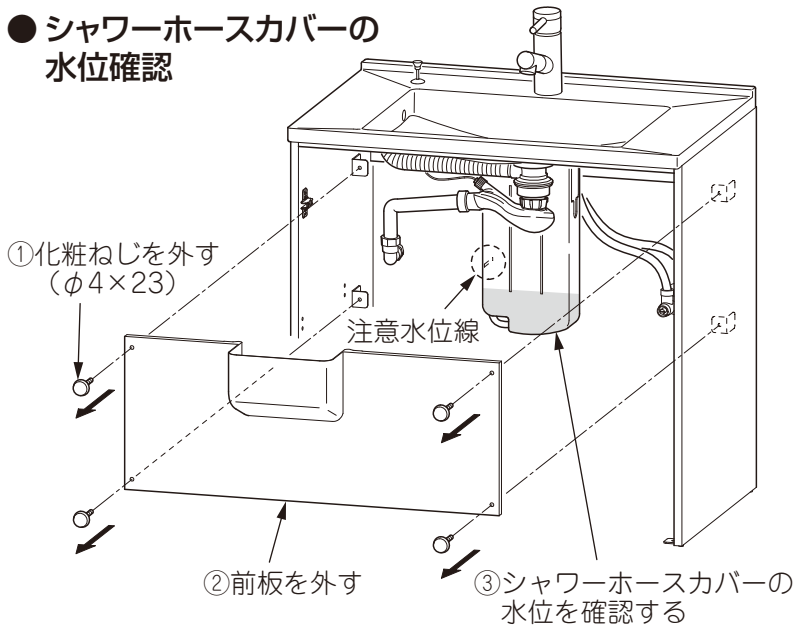
3 注意水位線まで水がたまっている場合は、水抜きを行います。
（次ページ参照）

4 確認後、前板を再び取り付けます。

使用上のご注意

- **前板を取り付ける際は、化粧ねじを４本同時に取り付け、少しずつ均等に締めてください。**

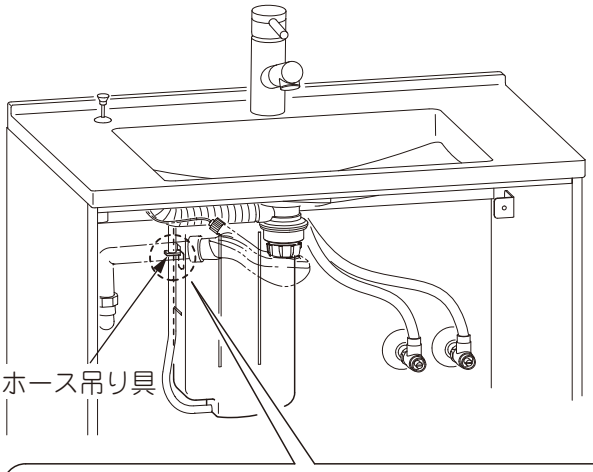
●シャワーホースカバーの水位確認



お手入れ

■ シャワーホースカバーの水抜き

1 水受け用に容器を準備します。
2 ホース吊り具を持ち上げて水抜きホースを外し、水受けに水を流します。
3 水抜きホースを元の位置に戻します。
4 水抜き後、前板を再び取り付けます。

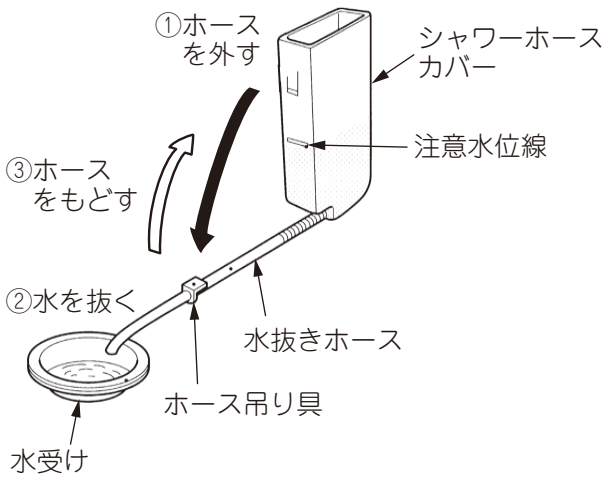


⚠警告

必ず守る

- **水抜きを行った後は、前板を固定用の化粧ねじで確実に取り付ける**
  落下事故やけがの原因になります。

●シャワーホースカバーの水抜き



■ 吐出量(止水栓)の調節

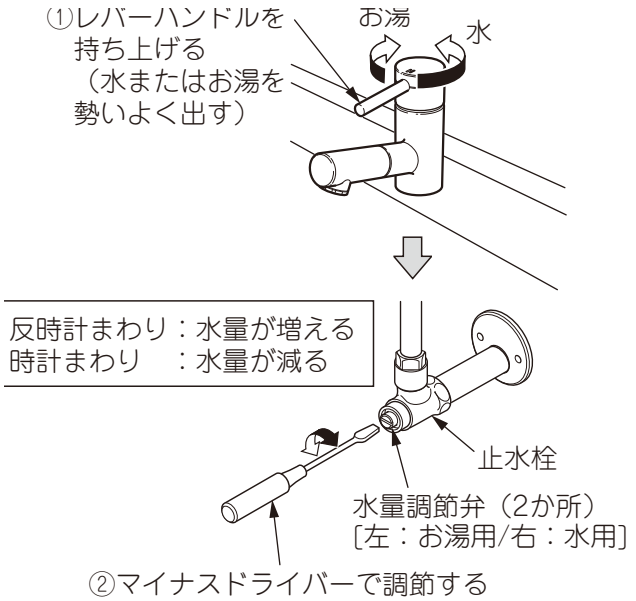
お湯側の調節

1 レバーハンドルを、お湯側いっぱいまで回して持ち上げます。(お湯が勢いよく出ます)
2 お湯用止水栓(左)の水量調節弁を、マイナスドライバーで回して調節します。

水側の調節

1 レバーハンドルを、水側いっぱいまで回して持ち上げます。(水が勢いよく出ます)
2 「水側の調節　手順2」と同じ要領で、水用止水栓(右)を調節します。

●吐水量(止水栓)の調節



■ 凍結のおそれがあるとき(水抜き)

1 給水栓に付属の説明書にしたがって、水抜きを行います。

このようなときは Q&A

◎修理・アフターサービスを依頼される前に、下記にあてはまる事柄がないかご確認ください。

	このようなときは	考えられる原因	対処方法・説明
水について	水が出ない。	断水している。	復旧を待ってください。
		配管が凍結している。	配管の凍結部にタオルを巻き、人肌程度(30℃～40℃)のぬるま湯をかけて解凍するか、自然に解凍するのを待ってください。
	水が漏れている。	給水管に問題がある。	止水栓を必ず閉めて漏水個所を締め直してください。締め直しても水が漏れる場合は、「修理ご相談窓口」に修理を依頼してください。(→裏表紙)
		排水管・トラップ部分に問題がある。	パッキン、防臭栓、ナットのずれ・ゆるみがないか確認し、直してください。それでも水が漏れる場合は、「修理ご相談窓口」に依頼してください。(→裏表紙)
	水の出が悪い。	止水栓が閉じている。	止水栓を開いてください。(→10,16ページ)
		ストレーナーが目詰まりしている。	ストレーナーを水洗いしてください。(→10,15ページ)
		給水・給湯ホースがねじれている。	給水・給湯ホースのねじれを直してください。(→10ページ)
お湯について	お湯が出ない。	給湯器の電源が「切」になっている。	給湯器の電源を「入」にしてください。
		断水している。	復旧を待ってください。
		配管が凍結している。	配管の凍結部にタオルを巻き、人肌程度(30℃～40℃)のぬるま湯をかけて解凍するか、自然に解凍するのを待ってください。
	お湯がでるまで時間がかかる。	配管に残っている冷めたお湯がでるため、異常ではありません。	しばらくお湯を流し続けて待ってください。
		給湯器から距離がある場合は、異常ではありません。	しばらくお湯を流し続けて待ってください。
	お湯の出が悪い。	他で給湯している。	給湯中は、できるだけ他でお湯を使わないようににしてください。
		給湯器が「貯湯式」である。	貯湯式給湯器の場合は、圧力が低いため、お湯の出が悪くなることがありますが、異常ではありません。
	温度が上がらない、または変動しやすい。	給湯器の設定温度が低くなっている。	給湯器の設定温度を上げてください。(50℃程度にする)
		給湯器の適水量が少なくてうまく点火しない。	給湯器の設定温度を下げて、適水量を多くしてください。
		他で給湯している。	給湯中は、できるだけ他でお湯を使わないようににしてください。
排水	排水の流れが悪い。	ヘアキャッチャーにゴミがたまっている。	ヘアキャッチャーのゴミを取り除いてください。(→14ページ)
給水栓	シャワーホースが戻らない。	シャワーホースが無理に引っぱられた状態になっている。	前板を外して、シャワーホースカバーの中にシャワーホース、ホースガイトを引き戻してください。
照明	照明が点灯しない。	グローランプがゆるんでいる。	グローランプをしめ直してください。
		蛍光灯の角度がずれている。	蛍光灯の角度のずれを直してください。
		グローランプ・蛍光灯の寿命が切れている。	グローランプ・蛍光灯を交換してください。
	照明がチラつく。	地域にあった周波数になっていない。	地域にあった周波数に切り替えてください。(→12ページ)
ミラー	ミラーにうがい薬や毛染液がついてしまった		コットンに中性洗剤をしみ込ませ、ラップにつつんで汚れにはりつけ、1時間ほど後に十分な水で洗い流してください。
	ミラーがくもる	くもり止め効果が落ちてきた。	やわらかいきれいな布に水で20%に薄めた台所用中性洗剤をしみ込ませて、軽く拭いてください。(→14ページ)

⇒トラブルが解決しない場合には、「お客様ご相談窓口」までお問合せください。(→裏表紙)

仕様

■ フロアキャビネット

部位		仕様
カウンター		洗面ボール一体型・ポリエステル系人造大理石製
		ボール容量5.5L・ボール深さ100mm
フロアキャビネット		エンドパネル・ニースペース板 ：木製 （化粧パーチクルボード[塗装耐水]）
扉		単色：ダップ鏡面化粧パーチクルボード 木目：樹脂化粧パーチクルボード
給水栓		マルチシングルレバー洗面混合水栓
排水装置		ポップアップ排水栓・ヘアキャッチャー付
止水栓	フルニースペース仕様	ストレート型止水栓（床給水）2個付
	ハーフニースペース仕様	アングル型止水栓（壁給水）2個付
排水管		ランニングトラップ：樹脂製

■ ミラーキャビネット

部位	仕様
本体	合成樹脂製
照明	20Wパルック蛍光灯×1灯（FL20SS・ENW/18X A）
照明スイッチ	プッシュ式スイッチ×1個
コンセント	3個口（合計1200Wまで）
電源コード	2m（直結配線可能、ヨコ型プラグ）
ミラー	フロート板ガラス5mm厚 （防曇膜処理[くもりシャット加工]）
	ミラーサイズ：330×704(mm)
その他	エチケットケース（1個）、着脱トレイ（3個） ドライヤーフック付

Panasonic

出張修理

洗面化粧台保証書

※お客様	お名前	様
	ご住所	
	電話番号	
※販売店	取扱販売店名・住所・電話番号	

※お引き渡し日	年　月　日
シリーズ・品番	
保証期間	お引き渡し日より　本体2年間 但し 電気部品　1年間

ご販売店様へ　上記※印欄は必ず記入してお渡しください。

無料修理規定

本書はお引き渡し日から本書に明示した期間中故障が発生した場合には、無料修理規定の内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

1 .取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。

（イ）無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店にお申しつけください。
（ロ）お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、お客様ご相談窓口にご連絡ください。
（ハ）この商品は、出張修理をさせていただきますので、修理に際し本書をご提示ください。

2 .ご転居の場合の修理ご依頼先は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。

3 .保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。

（イ）使用上の故意・過失または不当な修理や改造による故障及び損傷
（ロ）消耗部品（照明の管球、グローランプ、パッキン等）の取替えや修理、ストレーナーのゴミ詰まり等による故障及び損傷
（ハ）お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下等による故障及び損傷
（ニ）火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガス等）等による故障及び損傷
（ホ）車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
（ヘ）仕上げのキズ等で、お引き渡し時に申し出がなかったもの
（ト）瑕疵によらない自然の磨耗、さび、かび、変質、変色、その他類似の事由による場合
（チ）維持管理の不備による汚れ、さび、給水管、排水管の詰まり等の不具合
（リ）第三者による管理上、メンテナンス上等の不備に起因する不具合
（ヌ）犬・猫・鳥・鼠等の小動物や虫等の行為に起因する故障及び損傷
（ル）取付設置説明書に記載された方法以外の設置内容に起因する損傷や故障
（ヲ）建築躯体の変形等対象商品本体以外の不具合に起因する故障及び損傷
（ワ）異常電圧や指定外の燃料・電源（電圧、周波数）の使用及び異常水質による故障及び損傷
（カ）契約時、実用化されていた技術では予防することが不可能な現象またはこれが原因で生じた事故による場合
（ヨ）保証期間経過後に申し出があったもの、または保証該当事項の発生後、速やかに申し出がなかったもの
（タ）一般家庭用以外（例えば業務用等）に使用された場合の故障及び損傷
（レ）本書のご提示がない場合
（ソ）保証書にお引渡し年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合（領収書等で左記内容がわかる場合はその限りではありません）、あるいは字句を書き替えられた場合
（ツ）離島または離島に準じる遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する実費
（ネ）タバコの火、商品を傷める薬品（有機溶剤、塩素系洗剤、強酸・強アルカリ性洗剤、トイレ用洗剤等）の使用により発生した損傷

4 .本書は日本国内においてのみ有効です。

5 .本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

6 .お客様ご相談窓口は次頁をご参照ください。

修理メモ

※お客様にご記入いただいた個人情報は、保証期間内の無料修理対応及び安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
従ってこの保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

パナソニック株式会社　介護事業推進グループ

〒571-8686 大阪府門真市大字門真1048番地　TEL（代表）06−6907−1126

保証とアフターサービス よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などのご相談は

■まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

●お買い上げの際に記入されると便利です。

販売店名	
電話	
お引き渡し日	年　月　日

■保証書（19 ページ）

お引き渡し日・販売店名などの記入を確かめ、お買い上げの販売店からお受け取り、保管してください。

保証期間：お引き渡し日から本体 2 年間
（但し、電気部品は 1 年間）

■補修用性能部品の保有期間 7 年

当社は、本製品の機能を維持するために必要な部品を、製造打ち切り後 7 年保有しています。

修理を依頼されるとき

■まず、お買い上げの販売店へご連絡ください。

■ご連絡いただきたい内容

①品名
②品番 ※品番記載位置は 2 ページをご覧ください。
③お引き渡し日
④異常の状況（できるだけ具体的に）

●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理をさせていただきます。

●保証期間を過ぎているときは、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。

●修理料金は次の内容で構成されています。
【技術料】診断・修理・調整・点検などの費用です。
【部品代】修理に使用した部品および補助材料代です。
【出張料】お客様のご依頼により技術者を派遣する費用です。

商品の情報はホームページでご確認ください。 パナソニック 検索 http://panasonic.co.jp/

■転居などでお困りの場合は、以下のお客様相談窓口にご相談ください。
ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

消耗品・交換部品・後付パーツのご用命は

ハイ・パーツショップサイト ハイ・パーツショップ 検索 http://www.sumu2.com/shop/parts/

ハイ・パーツショップ 一般のお客様用
ナビダイヤル 0570-081-802
※全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

【受付時間】月～金 /9:00～19:00
土・日・祝日 /9:00～17:00
●携帯電話・PHS・IP/ ひかり電話などのご利用は
大　阪 06-6906-1224　　東　京 03-5392-7189 (転)

修理のご用命は

パナソニック エコソリューションズ **修理サービスサイト** http://sumai.panasonic.jp/support/repair/
インターネットでのご依頼も可能です。

パナソニック エコソリューションズ **修理ご相談窓口**
ナビダイヤル 0570-081-365
※全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

【受付時間】365 日 /9:00～20:00
●携帯電話・PHS・IP/ ひかり電話などのご利用は
大　阪 06-6906-1090
札　幌 011-261-6401 (転)　　名古屋 052-551-7900 (転)
東　京 03-5392-7190 (転)　　福　岡 092-622-0531 (転)

商品のお問い合わせは

パナソニック **総合お客様サポートサイト** http://panasonic.co.jp/cs/

パナソニック **お客様ご相談センター**
フリーダイヤル 0120-878-365
※携帯電話・PHS からもご利用になれます。

【受付時間】365日 /9:00～20:00
●左記番号がご利用いただけない場合は…06-6907-1187
●FAX …… フリーダイヤル 0120-878-236

音声ガイダンスを短くするには	案内が聞こえたら電話機ボタンの「87」と「670#」を押してください。 （番号を押しても案内が続く場合は、「＊」ボタンを押してから操作してください。）

※所在地、電話番号、受付時間などが変更になることがあります。　※(転)印は大阪へ自動転送になり、拠点から大阪までの転送通信料は当社負担です。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

愛情点検　長年ご使用の電気器具の点検を！

こんな症状はありませんか？

- ●照明スイッチの操作が不確実。
- ●照明を点灯中にこげ臭いにおいがする。
- ●触ると電気（ビリビリ）を感じる。
- ●スイッチやコンセント部が触れないほど熱くなっている。
- ●その他の異常や故障がある。

▶ このような症状のときは、故障や事故防止のため、照明スイッチを切り、コンセントから使用中の電気器具のプラグを抜いて、必ず販売店にご相談ください。

パナソニック株式会社　介護事業推進グループ
〒571- 8686 大阪府門真市大字門真1048番地

© Panasonic Corporation 2012
VAS20020428N
Dx1009-1012